

平成30年度北海道内4高専技術職員SD研修会

技術職員の活動内容報告

函館工業高等専門学校
分析機器・環境技術班

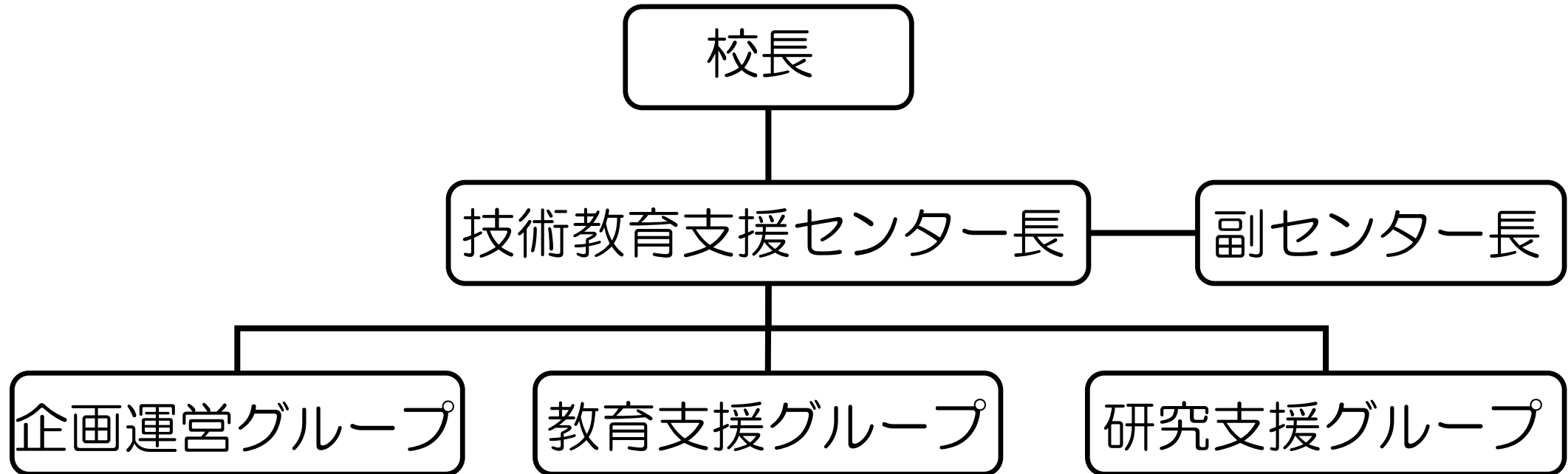
松井 春美

本日報告する活動内容

1. 技術教育支援センター新体制発足
2. 共同利用施設利用申請方法の変更
3. テクノセンター分析機器管理支援について
4. 上記以外のセンターの業務活動

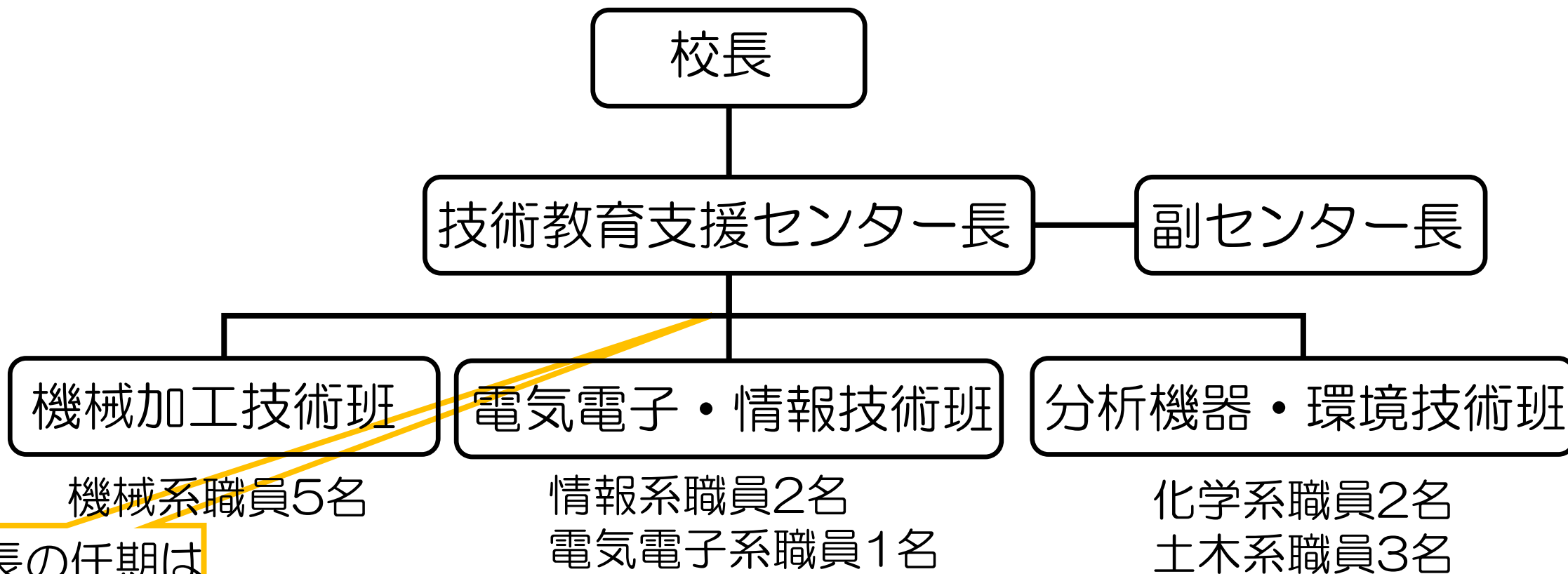
1. 技術教育支援センター新体制発足

～昨年度までの体制～



内部業務ごとに分かれていた組織 → 業務依頼はどこへ？

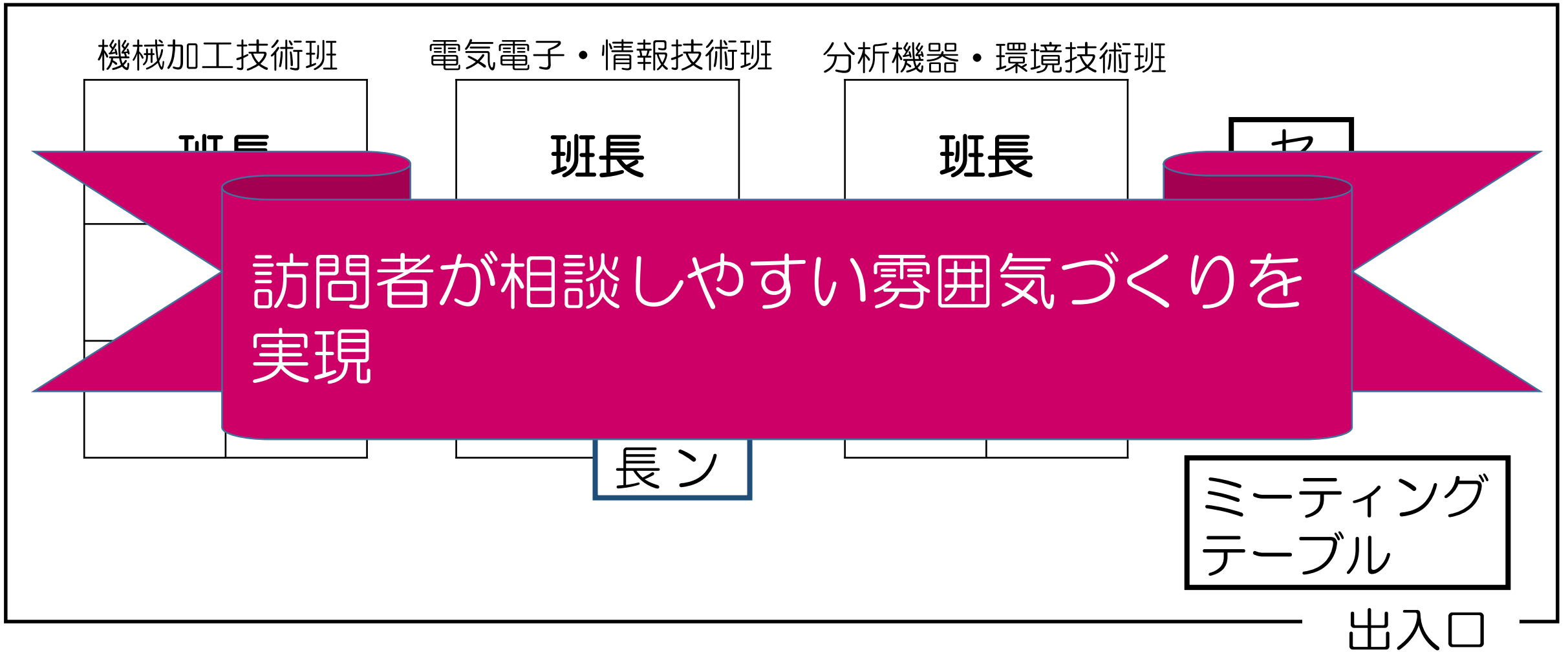
～新体制～



各班長の任期は
3年

各職員の専門性が分かりやすい組織に

～技術教育支援センター内簡略図～



～内部業務～

統括
機械

1. 年
2. 技
更新
3. 技
の管理
4. 出
等)
5. 学
6. 学

新しくなった班単位での班会議と並行
して内部業務班会議も月に一回開催



センター員同士の連携が密に

長

進

夕

2. 共同利用施設利用申請方法の変更

～利用申請の方法～

共同利用施設

実習工場

創造工房

電子顕微鏡室

X線室

利用する施設
を選択



本校ホームページ内の
共同利用施設のページ
へアクセス

～これまでの利用申請方法～

(平成26年10月～平成30年3月)

利用する施設の利用申請書を選択

サイボウズ（株）のグループウェア・ガルーンにログイン

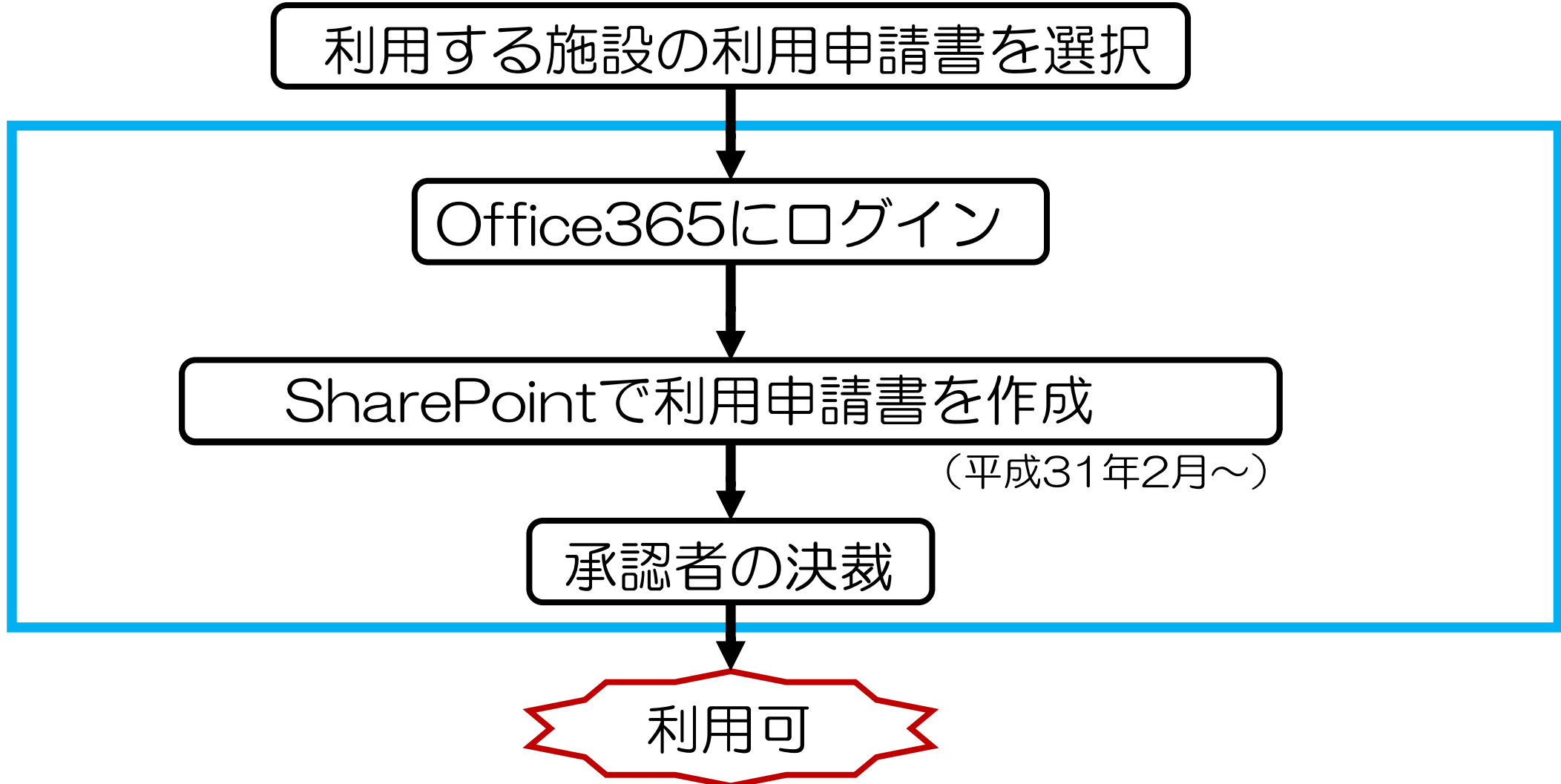
各施設利用申請書（ワークフロー）に必要事項を入力

承認者の決裁

利用可

～現在の利用申請方法～

(平成30年4月～)



3. テクノセンター分析機器管理支援について ～オープンファシリティ使用規程の制定～

機器を設置した教員がそれぞれに管理



施行以前

平成30年10月に「函館工業高等専門学校オープンファシリティ使用規程」が施行



施行後

テクノセンター長から技術職員に管理支援要望

～巡回・点検の実施～

管理支援対象実験室

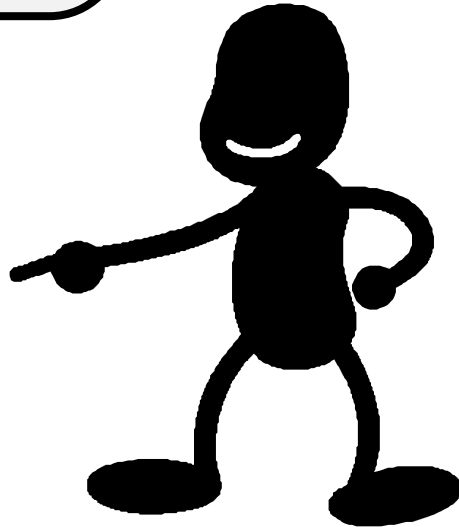
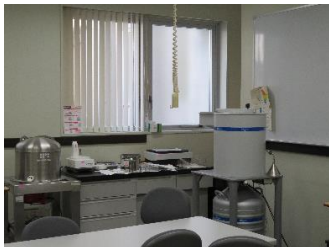
マテリアル開発研究室

放射線測定室

バイオテクノロジー研究室

分析機器・環境技術班員が週交代で
毎日朝・夕の2回実施

5分 / 1室



主な確認事項

利用者の有無

施錠の有無

機器作動の有無

照明のON/OFF

～利用記録簿の設置～

利用状況の把握

利用機器No.

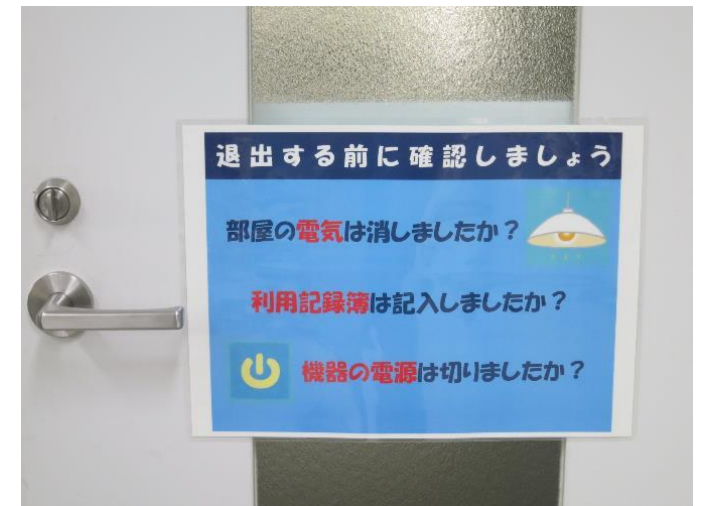
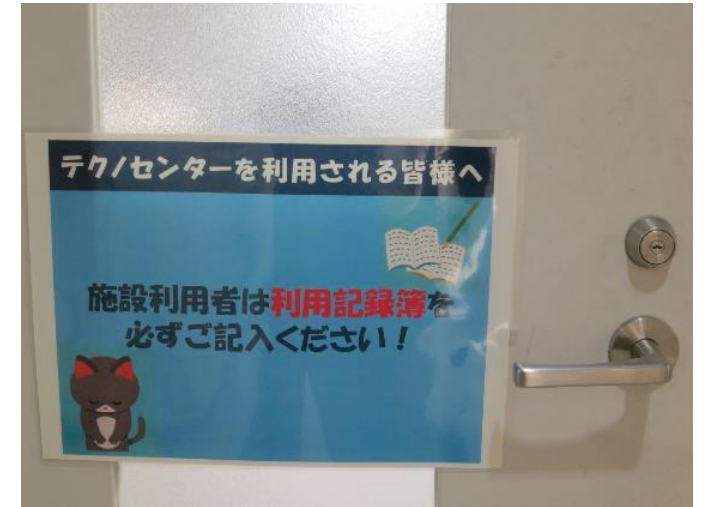
利用者名

利用日時

利用区分

利用目的…等

月1回利用集計を実施



～マニュアルの収集～

マテリアル開発研究室 : 6部 (7装置中)
放射線測定室 : 5部 (11装置中)
バイオテクノロジー研究室 : 12部 (14装置中)



装置の立ち上げ方法、停止方法をPDF化

今後の予定

オープンファシリティのHPの更新
各装置の仕様、分析事例等

4. センターの業務活動

(平成30年4月1日～平成31年3月12日時点)

- ①授業支援：前期・93科目、後期：112科目
- ②製作依頼：33件
- ③製作指導（技術指導）：5件
- ④その他学内業務依頼（学校行事等）：10件
- ⑤技術相談：1件
- ⑥函館高専紀要投稿：3件（個人1件、連名2件）
- ⑦研修出張：20件（10名）
- ⑧出前講座：2件
- ⑨公開講座：1件
- ⑩外部講座講師：1件
- ⑪テクノセミナー：2件

～その他報告事項～

新入職員 : 1名

再雇用職員 : 1名

- 本校での出来事

教育システム更新

1年生PC購入

北海道胆振東部地震発生時の本校の状況

9月6日（木）朝停電

9月7日（金）夕方 停電復旧

ネットワーク停止
機器の故障

今日の発表についての詳細は
本技術教育支援センターの活動報告書を
ご覧下さい

http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-scee/ActivityReport/SCEE_AR.html

4月更新予定



SCEEについて

地域連携活動

関連機器設備

活動報告集

各種ご案内

年次報告集

SCEE TOP > 活動報告書